



鷹栖町図書室に新しく入った本

(10月分より)



たかす(一般)

『心眼』(相場英雄/実業之日本社)

『十戒』(夕木春央/講談社)

『いつまで』(富中恵/新潮社)

『残奏』(佐藤青南/中央公論新社)

『カモナマイハウス』(重松清/中央公論新社)

『私たちの世代は』(瀬尾まいこ/文藝春秋)

『だが、情熱はある シナリオブック』(今井太郎/KADOKAWA)

『なぜ、その米は売れるのか?』(小池理雄/家の光協会)

『深掘り誕生石』(奥山康子/築地書館)

たかす(児童)

『うかぶかな?しずむかな?』(遠藤宏/岩崎書店)

『ミーせーてー』(スギヤマカナヨ/めくるむ)

『ねこのオーランドーの動物園』(キャスリーン・ヘイル/好学社)

『じっとみるの』(たちばなはるか/岩崎書店)

『タイムカプセル★ミラクル』(横田明子/岩崎書店)

『ねこねこがっこう』(荻田澄子/文溪堂)

『目でみるえいごのずかん』(おかべたかし/東京書籍)

きたの(一般)

『黒い糸』(染井為人/KADOKAWA)

『前の家族』(青山七恵/小学館)

『無限の月』(須藤古都離/講談社)

『ルミネッセンス』(窪美澄/光文社)

『ホテル・カイザリン』(近藤史恵/光文社)

『ファティマ』(レイラ・セパール/水声社)

『eスポーツ社会論』(川又啓子/同友館)

『認知症700万人時代』(鈴木雅人/かもがわ出版)

『フェミニスト男子の育て方』(ホビー・ウェグナー/明石書店)

きたの(児童)

『なにまってるの?』(accototo/文溪堂)

『ぼくらはたけ』(ガートルード・エリオット/好学社)

『まねっかメレオン』(リト@葉っぱ切り絵/講談社)

『人間になりたかった犬』(今西乃子/新日本出版社)

『カタリン・カリコ』(増田ユリヤ/ポプラ社)

『カプトムシの謎をとく』(小島渉/筑摩書房)

☆新しく入った本は他にもございます。
図書室では新着図書のリストを配布して
おります。

また、鷹栖町図書室の蔵書検索から
探すこともできます。



『あわいに開かれて』(小野正嗣/毎日新聞出版)

『サクラサク、サクラチル』(辻堂ゆめ/双葉社)

『青瓜不動』(宮部みゆき/KADOKAWA)

『かたばみ』(木内昇/KADOKAWA)

『改題旅行のためのスマホ快適ナビ』(リンクアップ/技術評論社)

『不眠睡眠障害治療大全』(井上雄一/講談社)

『Dr. マシリト最強漫画術』(鳥嶋和彦/集英社)

『おおきくなったリス』(伊佐久美/講談社)

『きょうりゅううんどうかい』(たしろちさと/小学館)

『どすこいみいちゃんぱんやさん』(町田尚子/ほるぷ出版)

『よるよ』(中山信一/偕成社)

『けものみちのにわ』(水尻紅美子/BL出版)

『クロニクル千古の闇 7』(ミシェル・ペイクヴァー/評論社)

『10歳からの図解でわかるAI』(山口由美/メイテックユニバーサルコンテンツ)

『自然知能』(外山滋比古/扶桑社)

『プレデター』(あさのあつこ/集英社)

『鷹の惑い』(堂場瞬一/講談社)

『可燃物』(米澤穂信/文藝春秋)

『銃を置け、戦争を終わらせよう』(高村薫/毎日新聞出版)

『百年の子』(古内一絵/小学館)

『外来種は悪じゃない』(伊地知英信/草思社)

『子どものネット・ゲーム依存問題解決ガイド』(森山沙耶/Gakken)

『nanahoshiのお祝いおりがみ』(たかはしなな/誠文堂新光社)

『ぼくのじゃがいも』(モモコ・アベ/こぐま社)

『どうぞめしあがれ!』(松田奈那子/ほるぷ出版)

『おだんごダイブ』(小池壮太/白泉社)

『最高のともだち』(草野たき/講談社)

『いじめ防止法こどもガイドブック』(佐藤香代/こどもの未来社)

『小学生が夢中になる!英語の教養マンガ』(佐藤久美子/主婦の友社)

ほか

～鷹栖町図書室の本はふるさとまちづくり応援寄附事業の寄附金を活用して購入しています～



図書室から

鷹栖町出身の漫画家・日野あかねさんによるイラスト展『漫画家日野あかねがイラストで描く民衆詩人小熊秀雄の世界』を11月1日～29日まで、鷹栖町図書室内で開催致します。
鷹栖町のために描き下ろした「蹄鉄屋の歌」「馬上の詩」など、小熊秀雄の「馬」の詩からイメージしたイラストも展示する予定です。



『第2回鷹栖町図書室まつり』を11月23日(木)に開催致します。
■ スペシャルおはなし会や、本のリサイクル市、あべ弘土さんと谷越のりあきさんによる講演会も行います。詳しくは鷹栖町図書室(☎87-2486)にお問い合わせください。

